

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E111B011		理科指導法(小) (Methodology of Science teaching(elementary school))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	2	教育学部			氏名 三次 徳二 E-mail tokuji@oita-u.ac.jp 内線 7723												
授業の概要	小学校理科の目標や内容構成などの全体像を理解する。また、教材研究法と学習指導構想の具体的な技術を習得し、3年次の教育実習(小)につなげる。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 目標や内容構成など、小学校理科の全体像を理解することができる。																		
目標2 具体的な授業展開例をもとに、A、B区分の指導法の特徴を理解することができる。																		
目標3 観察、実験を含め、理科の指導技術を学び、実際の授業について構想することができる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 授業ガイダンス、小学校理科の目標																		
2 小学校理科の内容構成、理科の系統性																		
3 理科における観察・実験の実施状況																		
4 各学年における思考力、判断力、表現力等の育成																		
5 年間指導計画の立案、各単元の指導計画の立案方法																		
6 具体的な観点別評価の方法																		
7 学習指導案の書き方、ものづくりの指導																		
8 授業の構成、板書計画の作成、発問の工夫																		
9 各学年で指導する内容、観察、実験の安全管理																		
10 模擬授業の実施とその反省(A物質・エネルギーを中心に)																		
11 模擬授業の実施とその反省(B生命・地球を中心に)																		
12 小学校理科を取り巻く状況、国際学力調査の結果																		
13 実感を伴った理解、理科と防災教育との関係																		
14 自然体験の状況、理科と環境教育との関係																		
15 理科と他教科との関係、授業のまとめ																		
ラ ア ク ニ テ ン イ グ エ	A:知識の定着・確認					演習、模擬授業					工 夫 そ の 他 の							
B:意見の表現・交換																		
C:応用志向																		
D:知識の活用・創造																		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	学習指導要領解説の通読(15h)																
	事後学修	学習指導案の作成(10h)、模擬授業の準備(4h)、試験の準備(6h)																
教科書	小学校学習指導要領解説 理科編(文部科学省編)東洋館出版社、2018年																	
参考書	参考書を指定しないが、理科(小)の授業で用いた理科教科書があると便利である。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	試験	80%																
	レポート(学習指導案)	20%																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	文部科学省の教科調査官
実務経験を いかした教 育内容	教育評価，言語活動の充実などの方策の講義